

## 16. 長崎原爆研究文献

ここには長崎原爆被災に関する文献と長崎大学医学部から報告された文献に限り、548件を集録した。文献集録には下記の文献目録を参考にするとともに、各教室より原爆関係の業績リストを提出していただき、より完全なものにした。参考にした文献目録は

- ① 原子爆弾に依る障害研究文献目録（1945—1960）  
広島医学 14：1033—1219，1961
- ② 原子爆弾に依る障害研究文献目録Ⅱ（1945—1961）  
広島医学 15：1027—1047，1962
- ③ 原子爆弾に依る障害研究文献目録Ⅲ（1959—1973）  
広島医学 27：679—1053，1974
- ④ 原子爆弾後障害研究会講演集総索引（昭和34～昭和58年）  
広島原爆障害対策協議会，1985

である。

原則として研究雑誌に報告されているものとし、科学研究助成金報告書等は除いた。また、次に挙げる刊行物も除いた。

- 原子爆弾災害調査報告集，第1分冊，第2分冊，総括編  
日本学術振興会，1951，1953
- 文部省科学研究費による総合研究報告集——医学及び薬学編  
日本学術振興会，1954～1959
- 日本赤十字社原爆病院治療記録  
日本赤十字社，1959～
- Research in Effects and Influences of the Nuclear Bomb Test Explosion. Vol. I and Vol. II  
Japan Society for the Promotion of Science. 1956
- Japan Red Cross Atomic Bomb Hospital Medical Record  
Japan Red Cross Society, 1959～
- 原爆障害症に関する調査研究報告書  
原爆障害症調査研究班  
日本公衆衛生協会

文献は次頁に示す項目に分類し、年代順に整理した。一つの文献が複数の項目に分類できる場合は、主なる項目に分類した。

## 分類項目

1. 発癌Ⅰ（白血病）	75
2. 発癌Ⅱ（白血病を除く）	82
3. 血液疾患（血液学的研究を含む）	87
4. 眼疾患	93
5. 皮膚疾患	95
6. 精神神経系疾患	96
7. 肝疾患	97
8. 内分泌系疾患	98
9. その他の疾患	99
10. 臨床観察	101
11. 原爆認定患者	102
12. 病理学的研究	102
13. 死因・死亡率	103
14. 健康管理・健診	104
15. 胎内被爆	108
16. 生殖能力	109
17. 成長・発育	110
18. 加齢現象	111
19. 遺伝的影響（染色体異常を含む）	112
20. 放射線量測定・残留放射能	115
21. 総説	120
22. その他	122

## 1. 発癌 I (白血病)

- 1 原爆と白血病  
糸賀 敬  
Medicina 3 : 1769, 1966
- 2 放射線と白血病  
市丸 道人  
Radioisotopes 29 : 622-631, 1980
- 3 放射線と白血病  
市丸 道人  
医学のあゆみ 128 : 902-907, 1984
- 4 広島、長崎の原爆生存者に於ける白血病発現  
Folly, H., 山脇 卓壮  
広島医学 5 : 129, 1952
- 5 皮膚白血病の種々相  
野北 通夫, 矢村 卓三, 小嶺 徳衛  
広島医学 15 : 915-916, 1962
- 6 成人被爆者の白血病にみられた Cytomegalic Inclusion Disease 2 例について  
市丸 道人, 横内 寛, 井石 哲哉, 中山 巖, Nakamura, R. M.  
広島医学 15 : 917-919, 1962
- 7 右胸壁に腫瘍形成を見た慢性骨髄性白血病の一例  
浜島 正瑞, 市丸 道人, 井石 哲哉, 中山 巖  
広島医学 15 : 920-922, 1962
- 8 長崎原爆被爆者の白血病, 再生不良性貧血並びにリンパ腺腫の統計的観察 (主に血液病センターの活動を中心にして)  
糸賀 敬, 市丸 道人, 豊田 成樹  
広島医学 15 : 987-991, 1962
- 9 長崎原爆被爆者の白血病とその化学療法による延命効果について  
糸賀 敬  
広島医学 17 : 715-722, 1964
- 10 原爆被爆者に於ける悪性リンパ腺腫の臨床的・病理学的研究 一特に高 Ca 血症を中心として  
安日 晋, 市丸 道人, 千布光三郎, 植村 静次, 迎 英明, 浜島 正瑞, 藤原 京太,  
松隈玄一郎, 壇野 八郎, 田中 俊和, 大津留 信, 中山 巖  
広島医学 17 : 778-787, 1964
- 11 白血病  
糸賀 敬  
広島医学 20 : 278-285, 1967
- 12 広島・長崎の原爆被爆者白血病の比較検討

- 朝長 正允  
広島医学 20：286-289, 1967
- 13 被爆者白血病及び悪性リンパ腫のまとめ 長崎剖検例について  
西森 一正, 重松 授, 樋口 一郎, 阿保 守邦, 林 一郎, 土山 秀夫, 浦山 昭,  
松岡 茂, 嘉村 末男, 高木 寛之  
広島医学 20：319-322, 1967
- 14 原爆被爆者の白血病の発生率  
石丸寅之助, 星野 孝, 市丸 道人, 岡田 弘, 富安 孝則, 土本 泰三, 山本 務  
広島医学 23：1037-1039, 1970
- 15 経時的原爆被爆者検診において見出された白血病及びその類縁疾患について  
豊田 成樹, 松永 隆子, 竹下 菊雄  
広島医学 24：1120-1124, 1971
- 16 被爆者検診を中心とした慢性骨髄性白血病の早期発見例について  
松本 吉弘, 富安 孝則, 朝長万佐男, 武藤 一己  
広島医学 24：1127-1129, 1971
- 17 白血病の疫学, 特に環境因子との関係, 広島・長崎  
石丸寅之助・他  
広島医学 25：623-635, 1972
- 18 原爆被爆者老人に見られた非定型性白血病2例について  
豊田 成樹, 竹下 菊雄, 安日 晋  
広島医学 27：600-604, 1974
- 19 悪性腫瘍に対する放射線照射後急性白血病の発症をみた2症例  
高橋 直喜, 松尾 罌, 山口 博志, 角尾 澄夫, 豊田 成樹, 杉原 甫  
広島医学 31：501-505, 1978
- 20 日赤長崎原爆病院に於ける悪性リンパ腫剖検例の検討  
高原 耕, 重松 和人, 草野 裕幸, 佐藤 辰夫, 千代田 晨  
広島医学 35：459-462, 1982
- 21 長崎の近距離被爆者にみられたマクログロブリンemia (Waldenstroem) の1例  
長嶺 勝, 朝長 優, 草野みゆき, 上平 憲, 市丸 道人, 上野 泰志  
広島医学 35：466-470, 1982
- 22 原爆被爆者に発生した白血病の診断と病型の再検討 第1報：長崎  
松尾 辰樹・他  
広島医学 39：403-405, 1986
- 23 原子爆弾と白血病  
朝長 正允  
診断と治療 41：38-41, 1953
- 24 白血病の臨床

- 箴島 四郎  
 総合臨床 9:811-822, 1960
- 25 被爆者白血病の発生頻度およびその問題点  
 朝長 正允  
 総合医学 20:561-566, 1963
- 26 白血病前駆症に関する研究  
 朝長 正允・他  
 第10回原子爆弾後障害研究会長崎シンポジウム講演及び討論集 403-405, 1969
- 27 原爆被曝線量, 被爆時年齢, 被爆後年数と被爆者白血病発生率の関係について  
 市丸 道人, 石丸寅之助  
 第15回原子爆弾後障害研究会講演集 50-56, 1975
- 28 近距離被爆者の老人に見出された Smoldering Acute Leukemia の1例  
 豊田 成樹, 竹下 菊雄, 安日 晋  
 第15回原子爆弾後障害研究会講演集 57-62, 1975
- 29 近距離被爆者にみられた急性形質細胞性白血病の1例  
 崎谷 満, 栗山 一孝, 草野みゆき, 山田 恭暉, 朝長 優, 朝長万佐男, 市丸 道人,  
 上平 憲, 真田 文明  
 第23回原子爆弾後障害研究会講演集 223-229, 1983
- 30 原子爆弾患者に見られた急性骨髄性白血病の1例  
 辻 昇  
 長崎医学会雑誌 28:519, 1953
- 31 被爆者に見られた急性リンパ性白血病の一例に就いて  
 村上 大典, 反田小五郎  
 長崎医学会雑誌 30:1029, 1955
- 32 集団検診により早期に発見せられた原爆被爆者白血病の1例  
 松尾 省吾, 天本 吉郎  
 長崎医学会雑誌 31:217, 1956
- 33 原爆被爆者に見られた多発性骨髄腫の2剖検例  
 竹林 茂夫, 岩尾 仁  
 長崎医学会雑誌 35:435, 1960
- 34 放射線と白血病 一長崎原爆被爆者白血病を中心として一  
 朝長 正允  
 長崎医学会雑誌 36:572-581, 1961
- 35 原爆被爆者集団検診により極めて早期に発見せる慢性骨髄性白血病2例の長期観察  
 豊田 成樹, 福島 良岡, 浜島 正瑞, 重松 授  
 長崎医学会雑誌 36:768-772, 1961
- 36 原爆被爆者に見られた $\gamma$ -骨髄腫の4例

- 横田素一郎, 安日 晋, 濤崎 史生, 井石 哲哉, 松隈玄一郎  
長崎医学会雑誌 36:773-775, 1961
- 37 過去18年間に於ける長崎原爆被爆者の白血病の統計的觀察  
糸賀 敬  
長崎医学会雑誌 38:854, 1963
- 38 長崎に於ける多発性骨髄腫の12例に就いて(特に被爆者の7例に就いて)  
市丸 道人, 安日 晋, 大津留 信  
長崎医学会雑誌 38:109-113, 1963
- 39 長崎の白血病に於ける淋巴性白血病並びに Leukosarcoma の統計的觀察と淋巴系異常細胞の  
PAS反応について  
糸賀 敬, 大木 圭一  
長崎医学会雑誌 38:154-161, 1963
- 40 被爆者多発性骨髄腫の2追加例  
市丸 道人, 安日 晋, 壇野 八郎, 大津留 信, 久保 実  
長崎医学会雑誌 40:608-611, 1965
- 41 原爆被爆者の骨髄腫腎に関する病理組織学的研究  
久保 実, 高木 寛之, 西森 一正  
長崎医学会雑誌 40:612-615, 1965
- 42 長崎原爆被爆者の腫瘍性淋巴節疾患について  
糸賀 敬, 岡 孫呉, 豊田 成樹, 市丸 道人  
長崎医学会雑誌 40:616-619, 1965
- 43 白血病67例の臨床的觀察(その1統計的觀察, 並びに慢性白血病について)  
市丸 道人, 有富 紘男, 壇野 八郎, 中村 正, 大津留 信  
長崎医学会雑誌 40:623-625, 1965
- 44 所謂,「西山地区」より発生した慢性骨髄性白血病の一例(急性転化例)  
富安 孝則, 岡部 信和, 松本 吉弘  
長崎医学会雑誌 43:809-813, 1968
- 45 長崎地区における白血病性脳出血の病理組織学的研究  
樋口 一郎, 西森 一正  
長崎医学会雑誌 43:847-851, 1968
- 46 推定被爆線量別にみた白血病発生率  
石丸寅之助, 星野 孝, 市丸 道人, 岡田 弘, 岡部 信和  
長崎医学会雑誌 43:857-860, 1968
- 47 原爆と白血病発生  
市丸 道人  
長崎医学会雑誌 47:346-355, 1972
- 48 白血病前駆症に関する研究

- 朝長 正允  
長崎医学会雑誌 47:403, 1972
- 49 原爆被爆と多発性骨髄腫  
市丸 道人, 石丸寅之助, 三上 素子, 松永マサ子  
長崎医学会雑誌 53:404-412, 1978
- 50 原爆被爆者の多発性骨髄腫に関する病理学的研究  
高木 芳秀, 岸川 正大, 分藤 桂子, 湯下 芳明, 滝口 健郎, 清水 和宏, 荒木 潤,  
高平 良二, 高木 敏博, 宮崎 純一, 関根 一郎, 藤野 是常, 西森 一正  
長崎医学会雑誌 55:652-660, 1980
- 51 原爆被爆者(早期入市者)に発生し, 8トリソミーを伴った非定型性急性骨髄性白血病の1  
剖検例  
貞森 直樹, 田川真須子, 山口 剛, 佐藤 辰夫, 草野 裕幸  
長崎医学会雑誌 55:773-777, 1980
- 52 原爆被爆者にみられたM蛋白血症6例(骨髄腫2例)について  
山下 兼彦, 山口 昌之, 赤澤美保子  
長崎医学会雑誌 55:778-782, 1980
- 53 原爆被爆者に発生した白血病の診断と病型分類の再検討(予報)  
松尾 辰樹, 朝長万佐男, 市丸 道人, 鎌田 七男, 蔵本 淳  
長崎医学会雑誌 59:412-417, 1984
- 54 近距離被爆者に発生した急性リンパ性白血病の1例  
森川 利則, 千代田 晨, 榎屋 滋  
長崎医学会雑誌 59:446-448, 1984
- 55 赤芽球コロニー培養系で白血病性コロニーを生じた近距離被爆者の非定型性白血病の1例  
西野 健二, 田川真須子, 八尾 栄一, 朝長万佐男, 雨森 龍彦, 陣内 逸郎, 市丸 道人  
長崎医学会雑誌 59:466-472, 1984
- 56 長崎に於ける原爆被爆者白血病  
市丸 道人  
日本医学放射線学会雑誌 29:232, 1969
- 57 長崎に於ける被爆後5年にして白血病症状を生じた1例  
山藤 光彦  
日本血液学会雑誌 15:303, 1952
- 58 長崎市原爆被災者中に於ける昭和27年度の白血病発生状況  
朝長 正允  
日本血液学会雑誌 16:254, 1953
- 59 集団検診に依り極めて早期に発見せる原爆被爆者白血病の1例  
松尾 省吾, 朝長 正允, 天本 吉郎  
日本血液学会雑誌 18:257, 1955

- 60 長崎市原爆被爆者集団検診に由り発見された白血病 6 例  
小園 昇, 蒲地 康郎, 浜島 正瑞  
日本血液学会雑誌 21: 464, 1958
- 61 長崎原爆被爆者における白血病発生に関する統計的観察  
朝長 正允・他  
日本血液学会雑誌 22: 834-835, 1959
- 62 巨大細胞性封入体症及 *Pneumocystis carinii* の感染を觀た成人原爆被爆者白血病, 2 例  
市丸 道人・他  
日本血液学会雑誌 25: 535-536, 1962
- 63 原爆被爆者における白血病, 長崎  
市丸 道人  
日本血液学会雑誌 31: 148-159, 1967
- 64 近距離原爆被爆者白血病の病像について  
富安 孝則  
日本血液学会雑誌 31: 443-444, 1968
- 65 原爆被爆者に於ける白血病, 長崎  
市丸 道人  
日本血液学会雑誌 31: 772-783, 1968
- 66 原爆と白血病, 診断と治療  
市丸 道人  
臨床と研究 55: 1519-1526, 1978
- 67 過去18年間に於ける長崎原爆被爆者白血病の統計的観察  
糸賀 敬  
臨床血液 5: 62, 1964
- 68 原爆被爆者の前白血病状態に関する考察, 特に再生不良性貧血との関連について  
市丸 道人  
臨床血液 13: 333-337, 1972
- 69 原子爆弾と白血病  
市丸 道人  
臨床血液 20: 574-589, 1979
- 70 Six cases of leukemia discovered at mass surveys of Nagasaki atomic bomb survivors  
Kamachi, Y., et al.  
Acta Med. Nagasaki 5: 99-107, 1960
- 71 Multiple Myeloma of Atomic Bomb Survivors—Autopsy Cases in the Nagasaki District  
(1946-1980) —  
Kishikawa, M., Takaki, Y., Ikeyama, M., Iseki, M., Honda, M. and Nishimori, I.  
Acta Med. Nagasaki 30: 249-255, 1985



- 72 Incidence of leukemia in survivors of the atomic bomb in Hiroshima and Nagasaki, Japan.  
Folley, J. H., Borges, W. and Yamaki, T.  
Am. J. Med. 13 : 311–321, 1952
- 73 Occupational factors in the epidemiology of leukemia in Hiroshima and Nagasaki  
Ishimaru, T., Okada, H., Tomiyasu, T., Tsuchimoto, T., Hoshino, T. and Ichimaru, M.  
Am. J. Epid. 93 : 157–165, 1970
- 74 Leukemia in man following exposure to ionizing radiation —A summary of the findings in Hiroshima and Nagasaki, and a comparison with other human experience  
Brill, A. B. and Tomonaga, M.  
Ann. Int. Med. 56 : 590–609, 1962
- 75 Leukemia in Nagasaki atomic bomb survivors from 1945 through 1959  
Tomonaga, M.  
Bull. Wld. Hlth. Org. 26 : 619–631, 1962
- 76 Leukemia and Malignant Lymphoma of Autopsy Cases in Nagasaki  
Nishimori, I., Shigematsu, S., Higuchi, I., Abo, M., Hayashi, I., Tsuchiyama, H., Urayama, A., Matsuoka, S., Kamura, S. and Takagi, H.  
Hiroshima Igaku Suppl. 20 : 47, 1967
- 77 Multiple myeloma among atomic bomb survivors in Hiroshima and Nagasaki, 1950–76: Relationship to radiation dose absorbed by marrow  
Ichimaru, M.  
J. Nat. Cancer Inst. 323–328, 1982
- 78 Leukemia and related Disorders  
Ichimaru, M. and Ishimaru, T.  
J. Radiat. Res. 16 : 89–96, 1975
- 79 Incidence of leukemia in atomic bomb survivors belonging to a fixed cohort in Hiroshima and Nagasaki, 1950–71  
Ichimaru, M., Ishimaru, T. and Belsky, J.  
J. Radiat. Res. 19 : 262–282, 1978
- 80 Statistical investigation of leukemia in Japan  
Tomonaga, M.  
New Zeal. Med. J. 65 : 863–869, 1966
- 81 Leukemia in atomic bomb survivors, Hiroshima and Nagasaki, 1 October 1950–30 September 1966  
Ishimaru, T., Hoshino, T., Ichimaru, M., Okada, H., Tomiyasu, T., Tsuchimoto, T. and Yamamoto, T.  
Radiat. Res. 45 : 216–233, 1971

82 Leukemia

Itoga, T.

広島医学別刊号 20:40-41, 1967

2. 発癌Ⅱ（白血病を除く）

83 長崎の原爆生存者に対する悪性新生物死亡率の統計的観察

森 哲

Acta Med. Nagasaki 5:43-53, 1960

84 原子爆弾に因る放射能被爆患者に於ける甲状腺の腫瘍

原野 愛生・他

Acta Med. Nagasaki 6:36-42, 1961

85 長崎市における胃癌の疫学的研究 —とくに原爆被爆との関係について—

岩崎 啓介, 川元 健二, 下川 功, 松尾 武, 池田 高良

癌の臨床 30:1746-1754, 1984

86 長崎市における甲状腺癌の疫学像 —罹患率と組織型, とくに原爆被爆との関係について—

重橋 亨, 松尾 武, 下川 功, 和合 正邦, 池田 高良

癌の臨床 30:459-465, 1984

87 長崎市における肺癌の疫学 —とくに原爆被爆との関連について—

井手 政利, 松尾 武, 下川 功, 峯 豊, 前田 公, 池田 高良

癌の臨床 30:334-339, 1984

88 長崎市における大腸癌の疫学像 —とくに原爆被爆との関連について—

下川 功, 松尾 武, 松尾 繁年, 池田 高良

癌の臨床 30:1269-1273, 1984

89 長崎市における重複がんの疫学像 —とくに罹患率と原爆被爆の関係について—

村瀬 邦彦, 下川 功, 林田 正文, 松尾 武, 池田 高良

癌の臨床 30:871-879, 1984

90 精神分裂病者の悪性腫瘍罹患率に関する疫学的研究

太田 保之

九州神経精神医学 28:221-242, 1982

91 広島と長崎で実施している Tumor Registry の統計学的な検討

石田 保広

厚生指標 7:28-34, 1960

92 原爆被爆者の甲状腺疾患, 特に甲状腺癌について

原野 愛生, 手塚 博, 調 来助

広島医学 15:1023-1026, 1962

93 原爆被爆を中心とする長崎地方の肝硬変並びに肝癌の疫学的, 臨床的, 病理学的研究 (第1報)

- 安日 晋, 横内 寛, 植村 静次, 迎 英明, 榎屋 滋, 松隈玄一郎, 大津留 信,  
中山 巖, 嘉村 末男, 鬼塚泰四郎, 岩永芳次郎  
広島医学 15:951-955, 1962
- 94 原爆被爆者の甲状腺及び乳腺腫瘍について  
調 来助, 手塚 博, 原野 愛生, 重松 授  
広島医学 17:788-792, 1964
- 95 悪性新生物のまとめ 甲状腺:〔原爆被爆者甲状腺疾患について〕  
原野 愛生, 手塚 博, 調 来助  
広島医学 20:348-352, 1967
- 96 長崎市に於ける原爆被爆者悪性新生物死亡の観察  
三谷 靖, 木寺 愛  
広島医学 20:406-413, 1967
- 97 長崎に於ける剖検例について  
西森 一正, 重松 授, 早川 滉, 松井 道, 津田 暢夫, 林 一郎, 松浦 甫,  
松岡 茂, 野口 恒久  
広島医学 20:414-416, 1967
- 98 長崎に於ける悪性新生物の溯及調査“臨床・病理の対比検討”  
西森 一正  
広島医学 22:388-389, 1969
- 99 広島・長崎の固定人口集団に見られた胃癌, 肝癌, 胆嚢癌について  
山本 務, 加藤 寛夫, Robertson J. D., Schreiber, W. M.  
広島医学 23:1078-1083, 1970
- 100 広島・長崎の固定人口集団における胃癌剖検例と原爆被爆線量との関係  
清水由紀子, 山本 務  
広島医学 29:270-271, 1976
- 101 長崎における若年時原爆被爆者の悪性腫瘍について  
池田 高良, 松尾 武, 森 洋, 野中 優, 綾部 孝史, 尹 漢勝, 藤原 久郎  
広島医学 29:264-269, 1976
- 102 被爆者における甲状腺癌, 広島・長崎, 1958-1976  
真鍋 嘉尚, 豊田恵美子, 山本 務  
広島医学 31:421-423, 1978
- 103 日赤長崎原爆病院における原発性肺癌剖検例についての臨床病理学的検討  
高原 耕, 杉原 甫, 原田 知行, 豊田 成樹, 角尾 澄夫  
広島医学 31:412-415, 1978
- 104 原爆被爆者の肺癌検診(第3報)  
佐々木英夫, 伊藤千賀子, 光山 豊文, 三島 康弘, 大村 寿男, 勝田 静知  
広島医学 33:284-288, 1980

- 105 広島・長崎の原爆被爆者剖検例にみられた悪性腫瘍 —組織型と放射線との関係 1951～75—  
山本 務  
広島医学 33：289—293, 1980
- 106 長崎における原爆被爆者の悪性腫瘍特に重複癌について —剖検例による検討—  
宮崎 純一, 滝口 健郎, 荒木 潤, 高平 良二, 高木 敏博, 関根 一郎, 西森 一正,  
藤沢 吉広, 湯下 芳明, 岸川 正大  
広島医学 33：298—305, 1980
- 107 長崎地区原爆被爆者の脳腫瘍に関する病理学的検討  
岸川 正大, 湯下 芳明, 戸田 隆義, 伊東 正博, 井関 充及, 清水 和宏, 滝口 健郎,  
高木 芳秀, 荒木 潤, 高平 良二, 関根 一郎, 西森 一正, 近藤 久義, 松尾 武,  
池田 高良  
広島医学 35：428—430, 1982
- 108 日赤長崎原爆病院における被爆者剖検例にみられた多重癌の検討  
高原 耕, 重松 和人, 吉田 邦子  
広島医学 37：444—447, 1984
- 109 胃癌剖検例についての臨床病理学的検討  
高原 耕・他  
広島医学 39：383—387, 1986
- 110 近年における被爆者胃癌手術症例の予後  
中尾 丞・他  
広島医学 39：481—484, 1986
- 111 悪性リンパ腫及び類縁疾患におけるリンパ球  
糸賀 敬  
最新医学 24：1672—1680, 1969
- 112 被爆者の悪性新生物に関する問題, 被爆者の悪性新生物に関する研究  
山辺 徹・他  
第10回原子爆弾後障害研究会長崎シンポジウム講演及び討論集 399—401, 1969
- 113 原爆被爆者胃癌の疫学的並びに病理学的研究(1950—1977年, 広島—長崎)  
関根 一郎, 西森 一正, 松浦 博夫, 山本 務, 越智 義道  
第23回原子爆弾後障害研究会講演集 105—112, 1983
- 114 長崎地区原爆被爆者の婦人科領域悪性腫瘍に関する病理学的検討  
岸川 正大, 井関 充及, 伊東 正博, 本田 実, 高木 芳秀, 湯下 芳明, 西森 一正,  
近藤 久義  
第23回原子爆弾後障害研究会講演集 119—124, 1983
- 115 固定集団における癌の罹患率 —長崎腫瘍登録 1959—78年資料にもとづく調査—  
若林 俊郎, 加藤 寛夫, Schull, W. J., 池田 高良  
第23回原子爆弾後障害研究会講演集 71—76, 1983

- 116 長崎市における被爆者悪性新生物死亡の統計的観察  
森 哲  
長崎医学会雑誌 35：1633-1647, 1960
- 117 長崎市に於ける被爆者悪性新生物死亡の統計的観察  
三谷 靖, 森 哲  
長崎医学会雑誌 36：724-731, 1961
- 118 長崎に於ける多発性骨髄腫, 特に原爆病院に於ける5症例を中心として  
市丸 道人・他  
長崎医学会雑誌 37：158, 1962
- 119 原爆被爆者の乳腺腫瘍に就いて  
原野 愛生, 手塚 博, 古川 洋, 出口 昇  
長崎医学会雑誌 38：114-116, 1963
- 120 肝硬変と原発性肝癌(広島及び長崎 ABCC に於ける寿命調査対象群の剖検例の分析)  
佐藤 達雄  
長崎医学会雑誌 40：649-651, 1965
- 121 原爆被爆者にみられた皮膚癌及び乳癌の症例  
調 来助, 手塚 博, 重松 授  
長崎医学会雑誌 40：593-595, 1965
- 122 原爆被爆者における悪性新生物について  
安日 晋, 千布光三郎, 田中 俊和, 有富 紂男, 松隈玄一郎, 大津留 信, 内田 雄三  
長崎医学会雑誌 40：603-607, 1965
- 123 広島・長崎の成人健康調査サンプル(ME-200)における乳癌の発生に関する調査  
佐藤 和義  
長崎医学会雑誌 43：845-846, 1968
- 124 原爆後障害症の現況と将来(諸種癌)  
安日 晋, 千布光三郎  
長崎医学会雑誌 43：904-906, 1968
- 125 被爆者の悪性新生物に関する研究 近距離被爆者の卵巣病理に関する調査  
山辺 徹, 中山 正博, 鈴木 公雄, 国吉 泰弘, 副島 研爾, 杉浦 甫  
長崎医学会雑誌 47：399-401, 1972
- 126 長崎・広島 ABCC で行なわれている癌研究について  
山本 務  
長崎医学会雑誌 47：376-380, 1972
- 127 当院における被爆者剖検例に見られた悪性腫瘍の統計的観察  
高原 耕, 豊田 成樹, 角尾 澄夫, 迎 英明, 植村 静次, 千布光三郎  
長崎医学会雑誌 51：206-211, 1976
- 128 被爆者における原発性肝癌の臨床病理学的検討

- 佐藤 辰夫, 高原 耕, 高橋 直喜, 松尾 罌, 角尾 澄夫, 迎 英明, 豊田 成樹  
長崎医学会雑誌 53:392-397, 1978
- 129 被爆者における肝硬変症の臨床病理学的検討  
佐藤 辰夫, 迎 英明, 高原 耕  
長崎医学会雑誌 55:685-689, 1980
- 130 広島・長崎の原爆被爆者における大腸癌 (1950-80年)  
中塚 博文, 山本 務, 清水由紀子, 高橋 信, 江崎 治夫, 田原 栄一, 関根 一郎,  
下山 孝俊, 持永 信夫, 富田 正雄, 土屋 涼一  
長崎医学会雑誌 59:473-480, 1984
- 131 被爆者乳癌手術症例の予後  
中尾 丞, 山田 康治, 栄田 和行, 野口 恭一, 高原 耕  
長崎医学会雑誌 59:384-388, 1984
- 132 被爆集団における重複がんの検討  
若林 敏郎, 山本 務  
長崎医学会雑誌 59:481-485, 1984
- 133 多発性骨髄腫の17例, 特に原爆被爆者の8例  
市丸 道人  
日赤医学 17:177, 1965
- 134 長崎の原爆被爆者に発生した多発性骨髄腫の2例  
田島 耕吉・他  
日本医学放射線学会雑誌 18:1782-1783, 1959
- 135 原爆被爆者に見られた多発性骨髄腫の2例  
安日 晋, 濤崎 央生, 岩尾 仁, 角尾 澄夫, 井石 哲哉  
日本血液学会雑誌 22:279-280, 1959
- 136 長崎市に於ける被爆者悪性新生物死亡の統計的観察  
森 哲  
日本産科婦人科学会雑誌 12:1045-1046, 1960
- 137 原爆被爆者に見られた多発性骨髄腫の2症例  
安日 晋, 濤崎 央生, 他  
日本内科学会雑誌 48:150-151, 1959
- 138 長崎原爆病院における一般患者および被爆患者についての悪性腫瘍の発生頻度に関する10年間 (1964-1973) の臨床統計  
鍛塚 寿, 高野 真彦, 居原 健, 計屋 紘信, 垣本 滋, 中野 信吾  
日本泌尿器科学会雑誌 65:527-533, 1974
- 139 原爆被爆者に見られた多発性骨髄腫の2例  
竹林 茂夫, 岩尾 仁  
日本病理学会会誌 49:745-746, 1960

- 140 Scar cancers in the atomic bomb survivors  
Tezuka, H., et al.  
*Acta Med. Nagasaki* 7 : 7-15, 1962
- 141 Statistical aspects of tumor registries in Hiroshima and Nagasaki  
Ishida, M.  
*Bull. intern. Statis. inst.* 38 : 223-234, 1961
- 142 Cancer of the Head and Neck in Atomic Bomb Survivors : Hiroshima and Nagasaki, 1957-1976  
Pinkston, J. A., Wakabayashi, T., Yamamoto, T., Asano, M., Harada, Y., Kumagami, H. and Takeuchi, M.  
*Cancer* 48 : 2172-2178, 1981
- 143 The cancer registry in Nagasaki city, with atomic bomb survivor data, 1973-1977  
Ikeda, T., Hayashi, I., Matsuo, T., Maeda H. and Shimokawa, I.  
*GANN* 30 : 41-52, 1986
- 144 Malignant Neoplasmas of Autopsy Cases in Nagasaki  
Nishimori, I., Shigematsu, S., Hayakawa, A., Matsui, S., Tsuda, N., Hayashi, I., Sugihara, H., Matsuoka, S. and Noguchi, T.  
*Hiroshima Igaku Suppl.* 20 : 69, 1967
- 145 Malignant Breast Tumors Among Atomic Bomb Survivors, Hiroshima and Nagasaki, 1950-74  
Tokunaga, M., Norman, J.E., Asano, M., Tokuoka, S., Ezaki, H., Nishimori, I. and Tsuji, Y.  
*J. Nat. Cancer Inst.* 62 : 1347-1359, 1979
- 146 Pathological and epidemiologic study of gastric cancer in atomic bomb survivors, Hiroshima and Nagasaki, 1975-77  
Matsuura, H., Yamamoto, T., Sekine, I., Ochi, Y. and Otake, M.  
*J. Radiat. Res.* 25 : 119-129, 1984
- 147 Breast Cancer among Atomic Bomb Survivors  
Tokunaga, M., Nishimori, I., et al.  
*Prog. Cancer Res. Ther.* 26 : 45-56, 1984
- 148 Studies of the Mortality of A-Bomb Survivors, Report 7 Part III. Incidence of Cancer in 1959-1978. Based on the Tumor Registry, Nagasaki.  
Wakabayashi, T., Kato, H., Ikeda, T. and Schull, W.J.  
*Radiat. Res.* 93 : 112-146, 1983

### 3. 血液疾患（血液学的研究を含む）

- 149 原爆被爆による造血器異常—長崎

- 市丸 道人  
 クリニカ 8:33-41, 1981
- 150 広島及び長崎に於ける原子爆弾症の臨床的観察 (2)原子爆弾症の血液像  
 吉岡 勝  
 岡山医学会雑誌 65:1701, 1953
- 151 被爆者調査, 造血臓器及び栄養に及ぼす影響  
 影浦 尚視, 朝長 正允  
 学術月報別冊資料 41:17, 1953
- 152 原爆被爆者の骨髓組織  
 松岡 茂  
 九州医師会医学会会誌 68:11, 1968
- 153 放射線と貧血  
 市丸 道人, 松尾 辰樹  
 現代医療 17:2107-2111, 1985
- 154 昭和35年及び昭和36年における長崎原爆被爆者の臨床的骨髓検査成績  
 豊田 成樹, 市丸 道人, 糸賀 敬  
 広島医学 15:974-976, 1962
- 155 原爆後期障害としての再生不良性貧血について (第三報)  
 市丸 道人  
 広島医学 15:983-986, 1962
- 156 某集団の原爆被爆者検診における血液像の経時的観察 (第II報)  
 大森 嘉憲, 豊田 成樹, 池田 保明, 馬場 宏治, 糸賀 敬  
 広島医学 15:992-994, 1962
- 157 広島, 長崎両市の原爆被爆生存者に於ける血液学的所見:10年間の観察  
 山本 務  
 広島医学 16:1082-1091, 1963
- 158 放射線障害による再生不良性貧血の1例  
 市丸 道人, 井石 哲哉, 浜島 正瑞, 壇野 八郎, 中山 巖  
 広島医学 17:775-777, 1964
- 159 広島・長崎における再生不良性貧血の研究, 特に原爆被爆者についての調査 (1946-1967年)  
 市丸 道人, 石丸寅之助, 土本 泰三, Kirshbaum, J.D.  
 広島医学 23:1040-1043, 1970
- 160 原爆被爆生存者における再生不良性貧血の発生率, 広島・長崎 1946-1967年  
 市丸 道人  
 広島医学 26:316-322, 1973
- 161 副腎皮質ホルモン投与による造血機能検査について (原爆被爆者における経験)  
 市丸 道人, 高瀬 啓一, 高橋 泰, 玉利久二男, 野口恵美子



- 広島医学 27: 589-594, 1974
- 162 近距離被爆者(爆心地より1,112 m)にみられた骨髓線維症の1剖検例  
松尾 隼, 竹下 菊雄, 鹿谷 隆朗, 豊田 成樹, 安日 晋, 原田 知行  
広島医学 29: 245-248, 1976
- 163 原爆放射線被曝と再生不良性貧血  
市丸 道人, 朝長 優, 松永マサ子, 貞森 直樹, 石丸寅之助  
広島医学 31: 484-488, 1978
- 164 原爆被爆者におけるATLA抗体と被曝線量の関係について  
池田 柊一・他  
広島医学 39: 462-464, 1986
- 165 原爆被爆者の造血幹細胞における細胞遺伝学的研究 第1報 循環血中顆粒球系前駆細胞(CFU-C)および赤芽球系前駆細胞(BFU-E)由来単一コロニーの染色体分析  
雨森 龍彦, 本田 武夫, 朝長万佐男, 朝長 優, 栗山 一孝, 吉田 善春, 市丸 道人  
第23回原子爆弾後障害研究会講演集 168-172, 1983
- 166 原爆被爆者に見られた白血球減少症の2例  
宇佐美基典  
長崎医学会雑誌 31: 217, 1956
- 167 原爆被爆後7年以上生存した非血液病屍の骨髓組織像  
河部 康男  
長崎医学会雑誌 33: 310, 1958
- 168 原爆被爆者に観られた諸種造血器疾患  
横田素一郎, 板坂喜与人, 安日 晋, 横内 寛, 瀧崎 央生, 迎 英明, 井石 哲哉,  
角尾 澄夫, 岩尾 仁, 丸内 進  
長崎医学会雑誌 35: 435, 1960
- 169 広島及び長崎に於ける原爆被爆者の骨髓所見について  
橋本美智雄  
長崎医学会雑誌 36: 638-644, 1961
- 170 原爆後障碍としての再生不良(能)性貧血について  
市丸 道人  
長崎医学会雑誌 36: 759-763, 1961
- 171 某会社従業員長崎原爆被爆者に於ける末梢血液像の経時的観察  
大森 嘉憲, 池田 保明, 馬場 宏治  
長崎医学会雑誌 36: 764-767, 1961
- 172 某集団の原爆被爆者検診における血液像の経時的観察(第3報)  
箴島 四郎, 大森 嘉憲, 池田 保明, 馬場 宏治, 糸賀 敬  
長崎医学会雑誌 38: 81-84, 1963
- 173 剖検材料からみた原爆被爆者死因統計(特に造血臓器を中心として)

- 西森 一正, 松岡 茂, 河部 康雄, 桂 栄孝, 久保 実, 高木 寛之  
長崎医学会雑誌 40 : 675 - 676 , 1965
- 174 白血病に於ける腎病変の病理組織像  
西森 一正, 樋口 一郎  
長崎医学会雑誌 46 : 346 - 347 , 1971
- 175 近距離被爆者にみられた骨髓線維症と思われる一症例  
竹下 菊雄, 豊田 成樹, 安日 晋  
長崎医学会雑誌 47 : 295 - 299 , 1972
- 176 長崎・血液異常の溯及調査  
市丸 道人  
長崎医学会雑誌 47 : 411 - 413 , 1972
- 177 原爆被爆者の末梢血細胞封入体の観察  
鍊石昇太郎, 貞森 直樹, 大串 康隆  
長崎医学会雑誌 53 : 227 - 230 , 1978
- 178 好中球アルカリフォスファターゼ低値, 染色体異常および軽度の赤血球増多を示した被爆者の1例  
千代田 晨, 豊田 成樹, 鹿谷 隆朗, 田川真須子, 松永マサ子  
長崎医学会雑誌 53 : 339 - 344 , 1978
- 179 原爆後障害としての造血器異常の推移  
市丸 道人  
長崎医学会雑誌 55 : 831 - 837 , 1980
- 180 胃癌死没者における血液検査の動態解析 (血色素量を中心に)  
森 弘行, 中村 剛, 三根真理子, 近藤 久義, 深堀三八子, 岡島 俊三, 豊田 成樹,  
森川 章  
日健診誌 9 : 180 , 1982
- 181 原子爆弾被爆後10年間における長崎市民の末梢血液像の変化  
入江 英雄, 井手 一郎, 鴨井 安宅, 魚住 浩策, 松浦 啓一, 綿貫 哲郎, 吉浦 省吾,  
村上 晃一, 田北暉比古  
日本医学放射線学会雑誌 16 : 302 , 1956
- 182 長崎の原子爆弾症の血液所見  
小沢 政次, 蔵成 博也  
日本血液学会雑誌 15 : 307 , 1952
- 183 長崎の原爆生存者に発生せる再生不良性貧血  
Lange, R.D., 倉崎 弘民  
日本血液学会雑誌 16 : 253 , 1953
- 184 原爆被爆者血液像 (長崎)  
朝長 正允

- 日本血液学会雑誌 20:176, 1957
- 185 剖検材料より見たる原爆被爆者の骨髓組織  
松岡 茂, 阿部 康男  
日本血液学会雑誌 20:188-194, 1957
- 186 長崎市における原爆被爆者の血液学的研究(昭和32年度)  
渡辺 紋朗, 市丸 道人  
日本血液学会雑誌 21:465-466, 1958
- 187 長崎原爆生存者における貧血の臨床的疫学的研究  
Amamoto, K. and Blaisdell, R.K.  
日本血液学会雑誌 23:487, 1960
- 188 原爆被爆者及び非被爆者白血球数の逐年的減少に対する考察, 第二報  
市丸 道人, Blaisdell, R.K.  
日本血液学会雑誌 23:487-488, 1960
- 189 某会社従業員長崎原爆被爆者の末梢血液像  
大森 嘉憲, 糸賀 敬, 渡辺 紋朗, 馬場 宏治, 池田 保明  
日本血液学会雑誌 23:488, 1960
- 190 長崎市原爆被爆者の血液学的研究 (1)  
影浦 尚視, 朝長 正允, 高寺 正昭, 砂辺 幸正, 市丸 道人, 最上 太, 草野源一郎,  
早田 正裕, 鎌先 忠彦  
日本内科学会雑誌 43:762, 1955
- 191 長崎市原爆被爆者の血液学的研究 (4)  
箴島 四郎, 朝長 正允, 村上 文也, 原田 義雄, 尾崎 修一, 他35名  
日本内科学会雑誌 47:1, 1958
- 192 原爆被爆者に見られた顆粒細胞欠乏症の1剖検例  
松永 春二, 坂本 信明  
日本病理学会会誌 45:479, 1956
- 193 広島及び長崎に於ける原爆被爆者骨髓の組織学的所見  
橋本美智雄・他  
日本病理学会会誌 49:713-714, 1961
- 194 長崎市西山地区に対する被曝線量の検討 —特に末梢血液像の経時的変化と推定線量の関係  
についての考察  
竹下 健児  
福岡医学雑誌 51:1296-1308, 1960
- 195 原爆放射線による造血臓器障害  
市丸 道人  
臨床血液 14:1255-1263, 1973
- 196 Hematologic investigation of atomic bomb sufferers in Hiroshima and Nagasaki cities.

- Kikuchi, T. and Wakisaka, G.  
Acta Sch. Med. Univ. Kioto 30 : 205–237, 1952
- 197 Clinical investigations of the atomic bomb survivors now living out side Hiroshima and Nagasaki cities with special reference to their hematological findings after eight and half years from the bombing  
Kikuchi, T. and Setsuda, T.  
Acta Sch. Med. Univ. Kioto 34 : 76–99, 1956
- 198 Blood picture of Nagasaki atomic bomb surviors  
Kageura, N., Osajima, S. and Tomonaga, M.  
Acta Med. Nagasaki 5 : 1–12, 1960
- 199 Hematological studies on the atomic bomb survivors in Nagasaki  
Osajima, S., et al.  
Acta Med. Nagasaki 5 : 13–23, 1960
- 200 Refractory anemia occurring in survivors of the atomic bombing in Nagasaki, Japan  
Lange, R.D., Wright, S.W., Tomonaga, M., Kurasaki, H., Matsuoka, S. and Matsu-  
naga, H.  
Blood 10 : 312–324, 1955
- 201 A Study of Aplastic Anemia in an Autopsy Series with Special Reference to Atomic  
Bomb Survivors in Hiroshima and Nagasaki  
Kirshbaum, J.D., Matsuo, T., Sato, K., Ichimaru, M., Tsuchimoto, T. and Ishimaru,  
T.  
Blood 38 : 17–26, 1971
- 202 On so-called “Blast Focus” in the Bone Marrow of Atomic Bomb Survivors  
Matsuoka, S., Ochi, T., Kawabe, Y. and Katsura, Y.  
Hiroshima Igaku Suppl. 20 : 48, 1967
- 203 Hemorrhagic diathesils in Hiroshima, Nagasaki and at Bikini atomic bomb test  
Copley, A.L.  
J. Am. Med. Ass. 137 : 145, 1948
- 204 Refractory Anemia Occurring in Survivors of the Atomic Bombing in Nagasaki, Japan  
Matsuoka, S., Lange, R.D., Wright, S.W., Tomonaga, M., Kurasaki, H. and Matsu-  
naga, H.  
J. Hematol. 10 : 3, 1955
- 205 Hematological observation of atomic bomb survivors living in Tokyo about ten years  
after atomic bomb explosions in Hiroshima and Nagasaki  
Igarashi, T., Ito, S., Hasegawa, M. and Mikata, I.  
Keio J. Med. 6 : 99–112, 1957
- 206 Long-term trend of haemoglobin decrease in stomach cancer

Nakamura, T., Mori, H., Mine, M., Kondo H. and Okajima S.

Med. Inform. 7 : 29 - 38, 1982

- 207 Incidence of aplastic anemia in atomic bomb survivors, Hiroshima and Nagasaki, 1946-1967

Ichimaru, M., Ishimaru, T., Tsuchimoto, T. and Kirshbaum, J.D.

Radiat. Res. 49 : 461 - 472, 1972

#### 4. 眼疾患

- 208 水晶体の生理的混濁（原爆白内障診断の前提）

徳永 次彦

眼科臨床医報 47 : 746, 1953

- 209 原子爆弾白内障

徳永 次彦

眼科臨床医報 47 : 504, 1953

- 210 広島及び長崎に於ける原子爆弾眼障碍補遺

松岡 寿, 生井 浩

眼科臨床医報 49 : 561, 1955

- 211 長崎における原子爆弾に因る眼外傷

広瀬金之助, 徳永 次彦

眼科臨床医報 50 : 509, 1956

- 212 長崎における原子爆弾被爆者の調節力

徳永 次彦

眼科臨床医報 51 : 181, 1957

- 213 長崎に於ける原爆被災者の水晶体老人性混濁に就いて

広瀬 泉・他

眼科臨床医報 55 : 1254, 1961

- 214 長崎に於ける所謂原子爆弾症の眼変状

広瀬金之助

久留米医学会雑誌 9 : 119 - 122, 1946

- 215 原爆白内障の診断と予後

広瀬金之助, 徳永 次彦

広島医学 12 : 922 - 927, 1959

- 216 長崎原爆被災者の眼調節力

広瀬金之助, 広瀬 泉, 岡本 昭

広島医学 15 : 866 - 867, 1962

- 217 原爆白内障の潜伏期について

徳永 次彦

- 広島医学 15：891-894, 1962
- 218 広島及び長崎に於ける原子爆弾による眼障害 —被爆後の早期障害—  
生井 浩  
広島医学 20：160-164, 1967
- 219 原爆後20年間眼障害調査研究のまとめ（長崎分）  
徳永 次彦  
広島医学 20：172-188, 1967
- 220 長崎原爆被爆者の網膜機能検査の成績  
河本 定久, 本多 重昭, 田中 愛子, 徳永 次彦, 藤野 亨  
第15回原子爆弾後障害研究会講演集 32-36, 1975
- 221 長崎に於ける原子爆弾に依る眼障碍  
広瀬金之助, 徳永 次彦  
長崎医学会雑誌 29：572, 1954
- 222 長崎市に於ける水晶体後極濁と原爆推定線量  
広瀬 泉・他  
長崎医学会雑誌 35：1715, 1960
- 223 長崎に於ける原爆被災者の推定受線量と水晶体後極濁との関係（予報）  
広瀬 泉, 岡本 昭  
長崎医学会雑誌 36：781-782, 1961
- 224 原爆白内障の回復性について  
徳永 次彦, 河本 定久  
長崎医学会雑誌 43：901-903, 1968
- 225 原子爆弾に依る白内障  
広瀬金之助, 藤野 貞  
日本眼科学会雑誌 54：449, 1950
- 226 長崎における原子爆弾に因る白内障  
徳永 次彦  
日本眼科学会雑誌 63：1211, 1959
- 227 長崎, 広島に於ける原爆被災者の眼調節力  
広瀬 泉・他  
日本眼科紀要 18：346-360, 1967
- 228 長崎に於ける原爆白内障の遠隔調査成績  
徳永 次彦  
日本眼科学会雑誌 72：1774-1781, 1968
- 229 放射線の生物学的効果 —水晶体に対する作用—  
徳永 次彦  
放射線医学 493-515, 1966

- 230 長崎における眼調節力  
 広瀬 泉, 徳永 次彦, 溝口 孝, 小田 隼夫  
 臨床眼科 13 : 70-79, 1959
- 231 放射線白内障の病理組織学的所見  
 徳永 次彦  
 臨床眼科 17 : 587-592, 1963
- 232 Atomic bomb radiation cataract in Nagasaki  
 Tokunaga, T.  
 Acta Med. Nagasaki 5 : 24-42, 1960
- 233 Ocular histopathology of some Nagasaki atomic bomb casualties  
 Schlaegel, T.F.Jr.  
 Am. J. Ophthal. 30 : 127-135, 1947
- 234 Status of lenticular opacities caused by atomic radiation, Hiroshima and Nagasaki,  
 Japan, 1951-1953  
 Sinsky, R.M.  
 Am. J. Ophthal. 39 : 285-293, 1955

## 5. 皮膚疾患

- 235 原爆による熱傷瘢痕の特徴とその治療について  
 調 来助, 手塚 博  
 広島医学 12 : 897-902, 1959
- 236 長崎の原爆被爆者に発生した瘢痕ケロイドの総括報告  
 手塚 博  
 広島医学 20 : 204-210, 1967
- 237 原爆熱傷瘢痕について  
 調 来助  
 広島医学 20 : 212-213, 1967
- 238 原爆被爆者における Keloid の病理組織学的並に電子顕微鏡的研究  
 土山 秀夫, 山崎彦四郎  
 長崎医学会雑誌 33 : 229, 1958
- 239 人体皮膚に関する病理組織学的並びに電子顕微鏡的研究補遺, 第II報, 原爆被爆による皮膚  
 ケロイドについて  
 山崎彦四郎  
 長崎医学会雑誌 34 : 1845-1850, 1959
- 240 原爆被爆者に見られた成人粘液水腫の2例  
 安日 晋, 横内 寛, 迎 英明, 角尾 澄夫  
 長崎医学会雑誌 35 : 435, 1960

- 241 原爆被爆者に認められた汎発性鞏皮症の1例  
安日 晋, 井石 哲哉  
日本内科学会雑誌 48:154, 1959
- 242 原爆被爆者に観られた汎発性強皮症の2剖検例  
安日 晋・他  
日本内科学会雑誌 50:122, 1961
- 243 原爆後遺症としての皮膚症変  
北村 精一, 徳永 信文  
皮膚と泌尿 16:195, 1954
- 244 Atomic bomb surface burns; some clinical observations among prisoners of war rescued at Nagasaki, Kyushu  
Beck, T.S.P. and Meissner, W.A.  
J. Indiana Med. Ass. 40:515-521, 1946

## 6. 精神神経系疾患

- 245 原爆被爆者の精神医学的調査  
築城 士郎  
九州神経精神医学 6:264, 1958
- 246 原爆被爆者の精神医学的調査  
築城 士郎  
九州神経精神医学 7:119, 1958
- 247 終戦後5年間の長崎医大精神科教室における経験  
築城 士郎, 上野 兼吉, 瀬川 耕逸, 鍋木 重美  
精神神経学雑誌 53:229, 1951
- 248 原子爆弾受傷者に発生せる上肢末梢神経幹損傷  
祐野 淳  
長崎医学会雑誌 28:339, 1953
- 249 原爆被爆者についての精神医学的調査  
築城 士郎, 杠葉 竹二, 安蔵英之輔, 池上 新, 鈴木 重徳, 辛島 尚士, 西脇 道夫,  
川崎 尚美, 広中雅之助, 長岡 守栄, 中川 芳和  
長崎医学会雑誌 33:637-639, 1958
- 250 原爆被爆者における神経症様患者の脳波  
築城 士郎, 杠葉 竹二, 川崎 尚美, 鈴木 重徳, 辛島 尚士, 広中雅之助, 藤井 薫,  
長岡 守栄, 内田 宏, 田頭 悟, 河部 康男  
長崎医学会雑誌 33:640-646, 1958
- 251 原子爆弾被災者についての精神医学的調査  
仁志川種雄, 築城 士郎



- 長崎医学会雑誌 36 : 717 - 722, 1961
- 252 原爆被爆者にみられた興味ある神経疾患の2例  
横田素一郎, 安日 晋, 松隈玄一郎  
長崎医学会雑誌 36 : 779 - 780, 1961
- 253 Effects of atomic radiation on the human brain ; a study of the brains of Hiroshima and Nagasaki casualties  
Shiraki, H., Uchimura, Y., Matsuoka, S., Takeya, S., Tamagawa, C., Koyano, K., Amano, S., Araki, M., Ayres, W.W. and Haymaker, W.  
J. Neuropath. 17 : 79 - 137, 1958
- 254 Senile brain changes in subjects exposed to the atomic bomb blast in Hiroshima and Nagasaki  
Namiki, H., Matsuyama, H. and Watanabe, I.  
Trans. Soc. Pathol. Jpn. 53 : 194 - 196, 1964

## 7. 肝疾患

- 255 原爆被爆者に於ける肝機能障害の治療及び発病防止について  
横田素一郎  
広島医学 12 : 1003 - 1013, 1959
- 256 原爆被爆者の肝障害に関する二・三の検討  
安日 晋, 横内 寛  
広島医学 20 : 265 - 271, 1967
- 257 広島・長崎の固定人口集団に見られた肝硬変症について  
山本 務, 加藤 寛夫, Schreiber, W.M., Robertson, J.D.  
広島医学 23 : 1147 - 1150, 1970
- 258 長崎原爆被爆者に於ける肝機能に就いて  
瀧崎 央正, 城谷 良郎, 久原 克己, 弥吉 次朗  
長崎医学会雑誌 33 : 485 - 493, 1958
- 259 長崎の原爆被爆者肝疾患に関する病理学的研究  
西森 一正, 岸川 正大, 森山 信男  
長崎医学会雑誌 47 : 319 - 323, 1972
- 260 長崎・肝機能障害の溯及調査  
安日 晋  
長崎医学会雑誌 47 : 410, 1972
- 261 被爆者の肝癌, 肝硬変と HBs 抗原  
浅野 正英, 加藤 寛夫, 正木 恵子, 板倉 英世, 浜田 忠雄, 飯島 宗一  
長崎医学会雑誌 55 : 677 - 684, 1980
- 262 原爆被爆者の肝障害に関する二, 三の観察

- 安日 晋・他  
日赤医学 19-20:52, 1967
- 263 原爆被爆者の肝及び副腎皮質機能  
横田素一郎  
日本内科学会雑誌 44:402, 1955
- 264 Pure Red Cell Aplasia に“ルポルド肝炎”及び肺高血圧症を併った近距離被爆者の1例  
豊田 成樹, 松隈玄一郎, 内山 英二, 角尾 澄夫, 安日 晋, 高原 耕  
広島医学 29:249-255, 1976
- 8. 内分泌系疾患**
- 265 放射線誘発副甲状腺機能亢進症  
松本 定次, 酒井 秀則, 徳永 茂樹, 江藤 敏文, 黒田 豊, 山本 賢輔, 磯部 孝史,  
持永 信夫, 伊藤 俊哉, 土屋 涼一, 六倉 正英, 由良 守司  
外科 44:831-836, 1982
- 266 長崎成人健康調査における甲状腺疾患(1960-62)  
鍊石昇太郎, 二井谷隆三, Burrow, G.N.  
広島医学 17:695-698, 1964
- 267 副腎皮質ホルモンの長期使用者にみられた偶発病の4症例について  
安日 晋, 市丸 道人, 植村 静次, 迎 英明, 壇野 八郎, 大津留 信  
広島医学 17:744-746, 1964
- 268 長崎原爆被爆者における甲状腺疾患の調査(第1報)  
倉田 明彦・他  
広島医学 39:392-395, 1986
- 269 放影研(長崎)の成人健康調査集団における糖尿病の実態調査(第2報)  
遠山 杏子・他  
広島医学 39:503-506, 1986
- 270 長崎西山地区住民の甲状腺機能  
和泉 元衛, 森本 勲夫, 佐藤 賢士, 長瀧 重信, 岡島 俊三, 宮島 純子, 河本 定久,  
鍊石昇太郎, 石丸寅之助  
第23回原子爆弾後障害研究会講演集 190-193, 1983
- 271 原爆被爆者の剖検屍にみられる副腎の後遺症の変化に関する病理組織学的観察  
林 一郎  
長崎医学会雑誌 36:634-637, 1961
- 272 原爆被爆者にみられた甲状腺障害について  
横田素一郎, 板坂喜与人, 安日 晋, 横内 寛, 迎 英明  
長崎医学会雑誌 36:750-753, 1961
- 273 原爆被爆者にみられた下垂体性侏儒症と思われる1剖検例

- 横内 寛, 迎 英明, 大津留 信  
長崎医学会雑誌 36: 754-756, 1961
- 274 原爆被爆者に観られた副腎の後遺症的变化に関する病理組織学的観察  
土山 秀夫・他  
長崎医学会雑誌 37: 91-102, 1962
- 275 原爆被爆者に於ける甲状腺機能低下症について  
安日 晋, 迎 英明, 植村 静次, 田中 俊和, 浜島 正瑞, 倉恒 宏正  
長崎医学会雑誌 38: 99-103, 1963
- 276 原爆被爆者に於ける各種内分泌腺(甲状腺副腎皮質, 上皮小体)の機能  
手塚 博  
長崎医学会雑誌 40: 13-29, 1965
- 277 剖検例にみられた橋本病の合併症 一特に被爆との関連一  
浅野 正英, 加藤 寛夫  
長崎医学会雑誌 53: 357-361, 1978
- 278 高分解能甲状腺用超音波診断装置による甲状腺体積の測定  
横山 直方, 和泉 元衛, 長瀧 重信, 迫 龍二, 倉田 明彦, 石川 直文  
長崎医学会雑誌 59: 316-323, 1984
- 279 放影研(長崎)における糖尿病の実態調査(第1報)  
遠山 杏子, 迫 龍二, 若林 敏郎, 三宅清兵衛, 長瀧 重信  
長崎医学会雑誌 59: 510-515, 1984
- 280 放射線被爆と甲状腺疾患  
市丸 道人  
日本医事新報 2596: 118, 1974
- 281 原爆被爆者に観られた特発性粘液水腫の5例  
安日 晋・他  
日本内科学会雑誌 52: 159, 1963
- 282 原子爆弾被爆者屍における内分泌腺の変化について(第1報)甲状腺  
牟田 広公, 松永 豊太, 倉崎 弘民, 天本 吉郎, 佐保 光康  
日本病理学会会誌 42: 222-223, 1953
- 283 原爆被爆が内分泌腺に及ぼす後遺症的影響に関する病理組織学的研究 (I) 副腎  
林 一郎, 土山 秀夫, 山辺 巖  
日本病理学会会誌 45: 409, 1956

## 9. その他の疾患

- 284 長崎市における原爆受傷者の外科的後遺症調査  
調 来助  
学術月報別冊資料 41: 16, 1953

- 285 耳鼻咽喉科と原爆障害  
後藤敏郎  
広島医学 20 : 272 - 273 , 1967
- 286 原爆被爆者コホートにおける変性疾患の発生状況  
迫 龍二・他  
広島医学 39 : 441 - 445 , 1986
- 287 耳鼻咽喉科領域に於ける原爆後遺症  
後藤 敏郎, 村島 二郎  
耳鼻咽喉科学会会報 58 : 1102 , 1955
- 288 生検による被爆者胃疾患の検討 —慢性胃炎—  
高原 耕, 重松 和人, 草野 裕幸  
第23回原子爆弾後障害研究会講演集 89 - 94 , 1983
- 289 白血病に於ける脳出血の病理組織学的研究  
樋口 一郎, 西森 一正  
長崎医学会雑誌 42 : 489 - 490 , 1967
- 290 放射線の選択的大動脈変化について  
高木 敏博, 戸田 隆義, 宮崎 純一, 岸川 正大, 関根 一郎, 津田 暢夫, 西森 一正  
長崎医学会雑誌 53 : 211 - 215 , 1978
- 291 長崎市内高校生に於ける原子爆弾と結核 Allergie とに関する研究  
大西 繁幸  
長崎総合公衆衛生学雑誌 12 : 40 - 52 , 1963
- 292 長崎における原爆外科後遺症治療の実際  
調 来助  
日本医師会雑誌 32 : 633 , 1954
- 293 白毛, バセドウ病と原爆症の関係  
市丸 道人  
日本医事新報 2562 : 130 , 1973
- 294 外科より観たる原子爆弾傷害  
調 来助  
日本外科学会雑誌 26 : 182 , 1953
- 295 A Case of Mycotic Infection of the Stomach and Liver Found in a Panmyelophthisis Patient Who Was Exposed to the Atomic Bomb Radiation in Nagasaki  
Nishimori, I.  
Acta Path. Jap. 5 : 593 , 1955
- 296 Spleen healding in survivors of the Atomic bomb  
Gregory, P.B., Milton, R.C., Johnson, M.L.T. and Taura, T.  
Radiat. Res. 33 : 204 - 215 , 1968

## 10. 臨床観察

- 297 長崎原爆病院診療年間報告  
横田素一郎  
広島医学 15:842-848, 1962
- 298 原爆被爆者の臨床的観察(その4)  
横田素一郎  
広島医学 17:646-651, 1964
- 299 長崎市西山地区住民における原子爆弾の影響について  
入江 英雄, 松浦 啓一  
広島医学 20:135-140, 1967
- 300 原爆被爆者の臨床的観察(その6)  
横田素一郎  
広島医学 20:41-50, 1967
- 301 西山地区における放射能後障害に関する知見  
市丸 道人  
広島医学 29:294-297, 1976
- 302 長崎市原爆被爆者の長崎原爆病院内科入院記録の統計的解析  
近藤 久義, 中村 剛, 森 弘行, 三根真理子, 岡島 俊三, 千布光三郎  
広島医学 33:404-406, 1980
- 303 又原爆記念日を迎えて, 長崎原爆被爆者総合診療  
北村 精一  
今日の医学 28:24, 1956
- 304 長崎原爆被爆者の長崎原爆病院内科入院記録の統計的解析 第2報 入院患者の変遷について  
近藤 久義, 中村 剛, 森 弘行, 三根真理子, 岡島 俊三, 千布光三郎  
第23回原子爆弾後障害研究会講演集 55-60, 1983
- 305 原爆被爆者の臨床観察  
横田素一郎  
長崎医学会雑誌 36:589-595, 1961
- 306 長崎市住民に於ける原爆による影響の逐年的観察, 特に西山地区住民に於ける影響について  
松浦 啓一  
長崎医学会雑誌 36:614-626, 1961
- 307 長崎原爆病院に於ける臨床的観察  
横田素一郎  
長崎医学会雑誌 38:135-140, 1963
- 308 原爆被爆者の臨床的観察(その5)  
横田素一郎

長崎医学会雑誌 40：683-688, 1965

309 長崎原爆病院内科入院患者の統計的解析

近藤 久義, 中村 剛, 森 弘行, 三根真理子, 岡島 俊三, 千布光三郎  
長崎医学会雑誌 55：624-627, 1980

## 11. 原爆認定患者

310 原爆認定患者の追跡調査について（肝障害、血液異常及び白内障の追跡調査）

安日 晋, 千布光三郎, 豊田 成樹, 迎 英明, 市丸 道人, 徳永 次彦  
広島医学 23：1066-1067, 1970

311 剖検例による原爆症認定患者の溯及調査

西森 一正, 下村 旭, 泉 真美  
広島医学 23：1068-1071, 1970

312 剖検例による原爆認定患者の溯及調査

西森 一正, 岸川 正大  
広島医学 39：310-315, 1986

313 長崎・剖検例による溯及調査

西森 一正  
長崎医学会雑誌 47：407-409, 1972

314 長崎・認定被爆者の溯及調査

松尾 幸子  
長崎医学会雑誌 47：414-416, 1972

315 原爆認定患者溯及調査（眼科—長崎）

徳永 次彦  
長崎医学会雑誌 47：417-418, 1972

## 12. 病理学的研究

316 原爆の傷害作用に基因した死亡者の剖検所見について —原爆被爆者の骨髓（非白血病群）

松岡 茂  
広島医学 12：919-922, 1959

317 原爆被爆者の骨髓に現われるいわゆる“Blast Focus”について

松岡 茂, 落 忠男, 河部 康男, 柱 栄孝  
広島医学 20：323-328, 1967

318 近距離被爆症例の病理解剖学的研究

岸川 正大, 西森 一正, 戸田 隆義, 赤尾つき子, 藤沢 吉広, 森崎真紀子, 西森 正一,  
津田 暢夫, 関根 一郎, 宮崎 純一, 富田 伸一, 母里 正敏, 高木 敏博, 藤野 是常  
広島医学 31：405-411, 1978

319 長崎原爆被爆者の病理解剖, 組織学的検討